

[成果情報名] クリスマスエリカの開花を促進させるための山上げ方法

[要約] クリスマスエリカの開花を促進させるため山上げは有効で、山上げする地点の標高が高いほど開花が早まる。県内の実用可能な範囲で最も標高が高い1600m地点で山上げを行う場合、山上げ開始日は7月15日・山上げ期間は45日間が適当であり、11月20日過ぎからの出荷が可能となる。

[キーワード] クリスマスエリカ、開花促進、山上げ

[担当] 山梨総農試・高冷地分場・岳麓試験地

[連絡先] 0555-24-9040

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

クリスマスエリカは、新しい年末の商材として市場などで有利に取引されている。一方、販売期間を長く取りたい小売り店などからはさらなる開花の前進化が求められている。そこで、夏場の山上げ方法について検討し、開花・出荷のさらなる早期化が可能となる方法を確立する。

[成果の内容・特徴]

- 1．夏期、クリスマスエリカを標高の高い場所に移動して管理する山上げは、開花の促進に効果があり、標高が高いほど開花も早くなる。(図1)
- 2．開花の前進化および開花の均一性を向上させるためには、1600mに山上げする場合、開始時期を7月15日からとし、期間を45日間とするとよい。この場合、慣行栽培よりも開花時の品質が優れた鉢花となる。(表1)
- 3．山上げ栽培を行うと、株張や樹高は慣行栽培よりも短くなる。このため山上げ栽培開始時には、樹高などが長めの株を選んで行う必要がある。(表2)

[成果の活用・留意点]

- 1．山上げ期間中の灌水労力を軽減するため、底面給水栽培が可能である。
- 2．標高の高い場所に山上げすると、強風による倒伏などの被害が想定されるので、暴風ネットなど対策を立てておく。
- 3．花芽確認後の最低温度18℃への加温開始日が、開花時期に最も影響を与えるので、適切な昇温に努める。

[具体的データ]

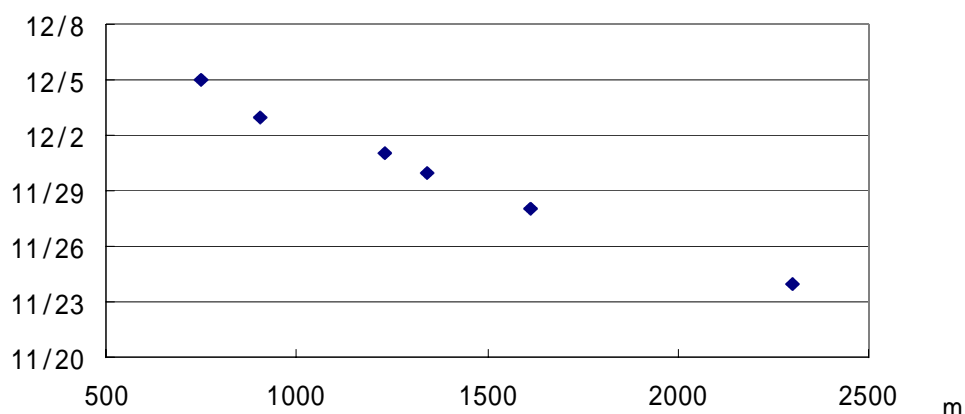


図1 山上げ地点の標高と開花日(2003年)
(山上げ開始8/1、30日間)

表1 山上げ方法が開花に及ぼす影響(2004年)

山上げ	開始日	山上げ期間	開花日 ^{A)}	開花日の標準偏差	開花指数 ^{B)}
	7/1	3 0	11/25	1.29	25.0
		4 5	11/23	1.91	25.2
		6 0	11/22	1.56	31.9
あり	7/15	3 0	11/20	1.90	21.4
		4 5	11/20	0.79	40.3
		6 0	11/22	2.74	27.4
	8/1	3 0	11/26	4.90	24.0
		4 5	11/25	4.42	30.5
		6 0	11/24	4.62	29.8
なし	-	-	11/30	3.90	22.9

A) 初花が開いた日

B) 白く開花した面積 / 樹形投影面積 × 100

表2 山上げ方法が生育に及ぼす影響(2004年)

山上げ	開始日	期間	株張			樹高		
			入室前 (cm)	開花時 (cm)	伸長量 (cm)	入室前 (cm)	開花時 (cm)	伸長量 (cm)
	7/1	3 0 日	11.8	13.1	1.3	28.8	29.9	1.1
		4 5 日	11.3	12.5	1.2	26.6	27.0	0.4
		6 0 日	10.7	11.7	1.0	26.2	26.7	0.5
あり	7/15	3 0 日	11.2	11.9	0.7	28.4	29.5	1.1
		4 5 日	10.8	11.9	1.1	26.2	27.7	1.5
		6 0 日	10.5	11.6	1.1	26.1	26.2	0.1
	8/1	3 5 日	12.0	12.4	0.4	27.3	29.1	1.8
		4 5 日	11.5	12.2	0.7	27.7	29.0	1.3
		6 0 日	11.7	13.8	2.1	27.3	30.3	3.0
なし	-	-	12.2	13.3	1.1	30.0	31.3	1.3

[その他]

研究課題名：クリスマスエリカの良品生産

予算区分：県単

研究期間：2002～2005年度

研究担当者：外川高雄 加藤成二 三宅ひろみ

発表論文等：特許(第3803804号)